

議題事項

福島県公安委員会及び沖縄県公安委員会から援助の要求があったので、これを受理して警察官を特別派遣するもの

1 福島県公安委員会からの援助の要求

(1) 派遣目的

原子力関連施設の警戒警備に従事するため

(2) 派遣者

警察官

(3) 援助要求

警察法第60条第1項の規定により、福島県公安委員会から援助の要求があったもの

2 沖縄県公安委員会からの援助の要求

(1) 派遣目的

国境離島警戒警備に従事するため

(2) 派遣者

警察官

(3) 援助要求

警察法第60条第1項の規定により、沖縄県公安委員会から援助の要求があったもの

**報告事項**

11月県議会定例会では、代表質問において、「急増する特殊詐欺等の被害」及び「安全・安心な地域社会の実現」について、質疑答弁が行われた。

また、公安委員会関係議案「令和7年度香川県一般会計補正予算議案」は、原案どおり可決された。

**1 会期**

令和7年11月19日（水）から同年12月11日（木）までの23日間

**2 代表質問（11月21日）**

自民県政会 岡野議員 急増する特殊詐欺等の被害

国民民主 鏡原議員 安全・安心な地域社会の実現

**3 総務委員会（11月26日）**

※公安委員会関係の質問なし

**4 一般質問（12月8・9日）**

※公安委員会関係の質問なし

**5 公安委員会関係議案の採決状況**

公安委員会関係議案については、「令和7年度香川県一般会計補正予算議案」の1議案が上程され、賛成多数で原案どおり可決された。

公安委員会 説明資料 No. 3	初任科第 95 期（長期課程）卒業式の挙 行について	令和 8 年 1 月 15 日 警 務 部
---------------------	-------------------------------	--------------------------

**報告事項**

**初任科第 95 期（長期課程）16 人は、県警察学校における 10 か月間の初任教養を修了し、本年 1 月 27 日に卒業する。卒業後は、警察署に配属され、採用時教養の一環として、職場実習を行う。**

**1 日時・場所**

令和 8 年 1 月 27 日（火）午前 10 時 30 分～  
警察本部 6 階大会議室

**2 卒業生**

初任科第 95 期（長期課程）16 人（うち女性 6 人）

※ 年齢（卒業時）

最年長 25 歳 4 か月 最年少 19 歳 0 か月 平均 20 歳 4 か月

**3 教養期間**

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 1 月 27 日（入校日数 302 日）

**4 出席者**

(1) 来賓

知事、県議会議長、高松地方検察庁検事正

(2) 警察関係

公安委員会委員長、公安委員会委員、警察本部長、警察本部各部長、首席監察官、地域監、サイバー・情報管理局长、警務部統括参事官

(3) その他

卒業生家族

**5 式次第**

裏面のとおり

**6 その他**

卒業生は、県下各警察署に配属され、職場実習を行う。

# 卒業式次第

- 1 開 式
- 2 国歌斉唱
- 3 卒業証書授与
- 4 学校長式辞
- 5 本部長賞誉授与
- 6 本部長訓示
- 7 公安委員会委員長挨拶
- 8 来賓祝辞
  - 香川県知事
  - 香川県議会議長
  - 高松地方検察庁検事正
- 9 卒業生代表答辞
- 10 香川県警察歌斉唱
- 11 閉 式

報告事項

- ・令和7年中の交通事故死者数は5年連続減少し、統計資料が残る昭和23年以降で最少の20人（前年比-11人）となった。
- ・全死者に占める高齢者の割合が約7割を占めたほか、交差点の割合が6割を占めた。

1 交通事故の発生状況

区分	令6年	令7年	増減数	増減率(%)
発生件数	2,943	2,649	-294	-10.0
死者数	31	20	-11	-35.5
負傷者数	3,579	3,203	-376	-10.5
重傷者数	269	285	+16	+5.9

2 交通死亡事故（20件20人）の主な特徴 注：[ ]内は前年の数値

- 【年齢別】 高齢者の死者数が全死者の約7割  
高齢者13人（65.0%）[19人（61.3%）]、25～64歳4人[7人] 若者（16～24歳）2人[4人]、  
子供1人[1人]
- 【道路形状】 交差点の死者数が全死者の6割  
交差点（付近含む）12人（60.0%）[18人（58.1%）]、単路6人[13人]、踏切1人[0人]、  
その他1人[0人]
- 【昼夜別】 夜間の死者数が全死者数の5割  
夜間10人（50.0%）[18人（58.1%）]、昼間10人[13人]
- 【当事者別】 歩行者の死者数が全死者の4割  
歩行者8人（40.0%）[10人（32.3%）]、二輪4人[7人]、四輪4人[6人]、自転車3人[8人]、  
その他1人[0人]
- 【類型別】 人対車両の死者が全死者の4割  
人対車両8人（40.0%）[10人（32.3%）]、車両相互7人[13人]、車両単独4人[8人]、  
列車1人[0人]

3 交通事故死者数の年別推移

区分	令2年	令3年	令4年	令5年	令6年	令7年	過去5年(令2～令6年)平均
交通事故死者数 (人)	59	37	35	33	31	20	39
人口10万人当たり死者数 (人)	6.17	3.89	3.72	3.53	3.35	2.18	4.13
全国ワースト順位 (位)	1	3	4	5	11	34	—
うち高齢者死者数 (人)	44	22	24	22	19	13	26.2

4 令和8年の交通死亡事故抑止推進重点

- (1) 交通安全思想の普及促進（交通安全教育と広報啓発活動の推進）
- (2) 道路交通秩序の維持（交通事故抑止に資する交通指導取締り）
- (3) 道路交通環境の整備（持続可能な交通安全施設等の整備の推進）